

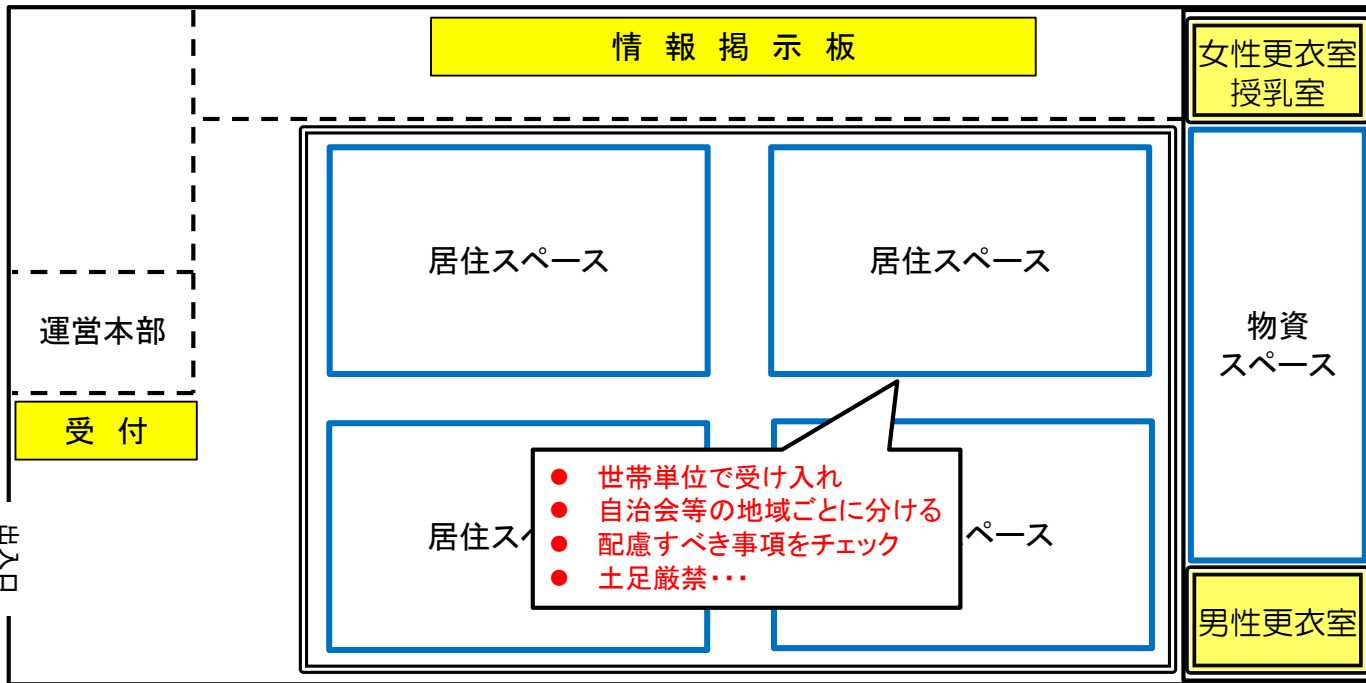
# 筑紫野市避難所運営マニュアル

大規模な災害が発生した状況で、長期的な避難生活が継続すると想定される場合の避難所運営についてのポイントについてまとめました。

## 大規模災害時の避難所運営に関する基本行動

### 避難所のレイアウトづくり

<レイアウト例>



【屋外】

- ・仮設トイレ(男性用、女性用、みんなのトイレ)
- ・ごみ集積場(ごみの分別)
- ・休憩所、喫煙所
- ・ペットスペース など

【その他:設置の検討が必要なスペース】

- ・福祉避難スペース
- ・救急救護室
- ・子供の遊戯室
- ・娯楽スペース など

※避難スペースに一定の間隔(1m~2m)を空けるなど、感染症対策の観点を取り入れた区角割りを検討しましょう。(仕切りの設置など)

### ポイント

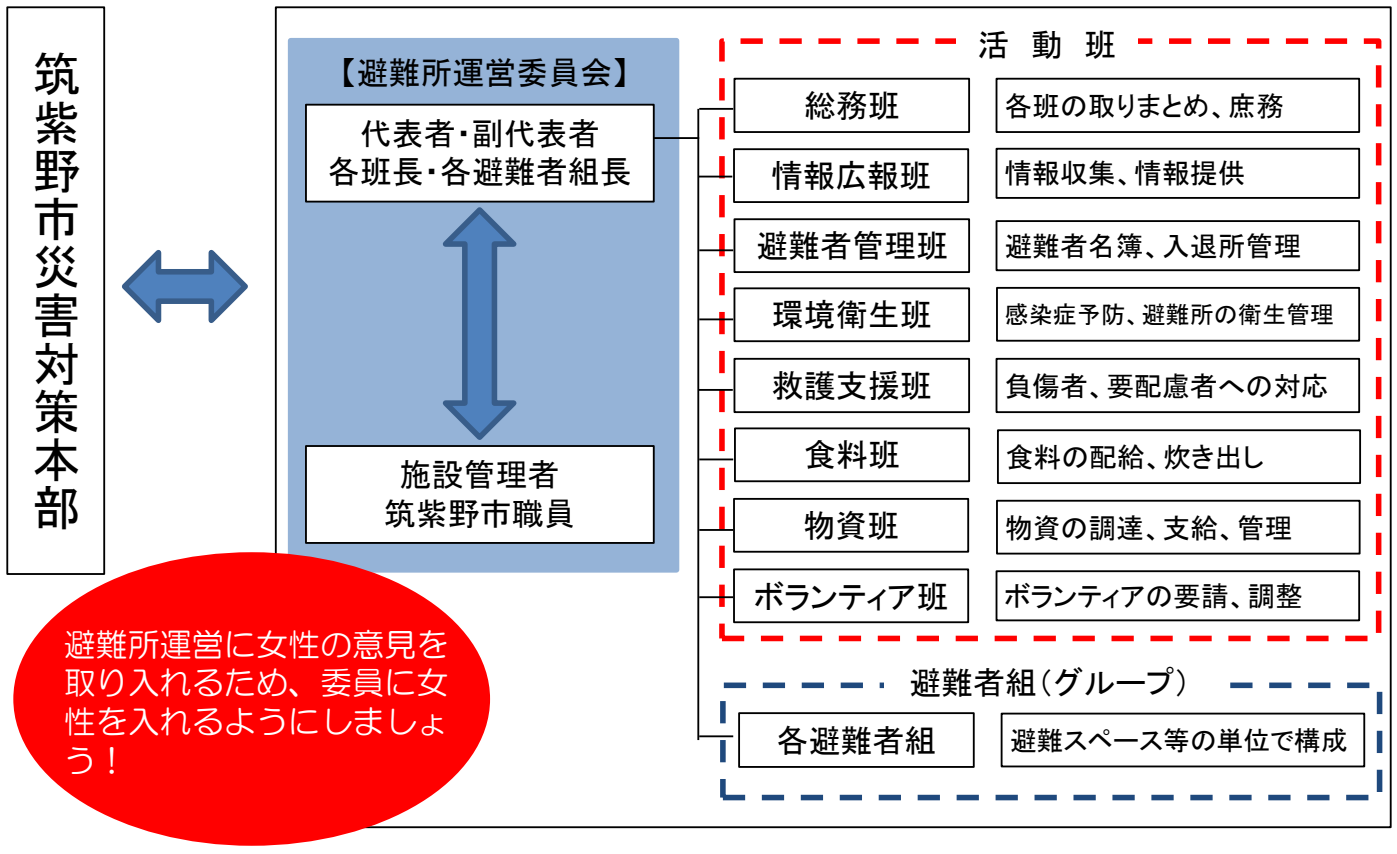
- 通路をつくる！
- 要配慮者は通路側に！～トイレへの行きやすさなどに配慮する～
- 女性に配慮したスペースを確保する！～更衣室や物干し場、授乳室を分けプライバシーを確保～
- 情報の整理と共有！～掲示板や看板の設置～

### 避難者名簿づくり

○受付で**避難者名簿**を作成します(必須！)

- 避難者の数や状況の把握は、物資や食料の配給、スペースの配置等において重要です。
- 避難者の人数把握を迅速に行うことで、円滑な避難所運営につながります。

## 避難所の運営体制(例)



## 避難所運営で配慮すること(例)

不特定多数の人が混乱状態の中で避難し、生活する避難所では、**お互いに配慮**しあえるよう工夫が必要です。

### 配慮が必要なこと

- 情報の掲示(外国人への情報伝達の工夫)
- ペットへの対応
- 在宅、車中避難者への情報提供、物資の配給
- 要配慮者の居住スペースの位置  
(トイレや出入口の近くに配置するなど)
- 性別に応じた配慮
- プライバシーの確保
- 子供の居場所づくり
- 時期に応じた様々な配慮  
(給水場の設置(夏)、暖房器具の設置(冬)など)

### その他配慮が必要なこと・・・

- ・ごみの分別や、配食時の手指消毒など衛生管理を行う。
- ・少しの時間でも体を動かすよう心掛ける。(エコノミー症候群対策)
- ・食事の時間を決め、できるだけ避難者みんなで食事をするよう心掛ける。
- ・性的少数者(LGBT)への配慮  
(男女のトイレに加え、「みんなのトイレ」を設置するなど)
- ・避難所内での感染症まん延を防ぐため、手洗いの励行や咳エチケットなどを啓発する。
- ・避難者の体調管理のため、定期的な検温を行う。